

# 鳴神山



柳津小学校  
学校だより

2017. 12. 8

No. 29

文責 川井 孝寿

## 楽しい学びがいっぱい！～2学期のまとめ～

### 『学習ボランティア』～小・中連携学習～

12月6日（水）は、柳津小学校と柳津中学校の『小・中連携学習ボランティア』を実施しました。

今年度は、本校の教室を会場に、5年生と6年生がそれぞれ柳津中の1年生と2年生から算数の学習を教えてもらう企画でした。

最近の学習塾のCMでは、『個別指導』や『家庭教師』等の言葉が良く聞かれますが、柳津小中の連携では、それ以上の手厚い支援が見られ、1人の児童に先生が2人、3人と付くような机もありました。

学習内容の理解をはじめ、中学生の優しい人柄にも触れることができた、とても貴重な時間となりました。特に6年生は、新年度からの中学校進学に対する不安も解消され、期待が大きく膨らんだことと思います。

また、13日（水）には、中学3年生による1・2年生への読み聞かせボランティアも予定されており、今からみんな楽しみにしています。

これからもこのような小・中で連携する機会を積極的に設け、互いの学びを充実させていきたいと考えます。



### 『放射線教育』

11月28日（火）は、日本科学技術振興財団より専門の先生をお呼びして、全校生の『放射線教育』を実施しました。

東日本大震災に伴う原子力発電所の事故以来、放射線の危険性がよく取り沙汰されておりますが、目に見えず、また、においもしない放射線は、私たちの日常生活ではあまり馴染みがなく、理解しがたいものであります。そこで、専門家をお呼びして、放射線について正しく理解するのがこの学習の目的です。

子ども達は、『はかるくん』という放射線測定器を使いながら、塩や肥料など、身の回りによくある物の放射線量を実際に測り、身近なところにも放射線があることを理解していました。



## 『校内授業研究会』

本校では、昨年度に引き続き『読書教育』をテーマに授業研究に取り組んでおります。そして今年度も、1学期からそれぞれの学年で研究授業を実施して参りましたが、2学期のまとめの時期ということもあり、11月の後半から12月にかけては研究授業を集中的に行いました。

どの学年でも、**読書が学習に良く生かされており**、子ども達の意欲的で活発な学びが見られました。

子ども達の読解力は確実に高まってきております。 **ぜひ、この機会に、家読（家庭内での読書）をお勧めいたします。**

これからは降雪や積雪で外遊びが難しい季節となり、また、冬休みという長期休業もあります。家庭での時間を有効に活用しながら**読書に親しむことは、メディアコントロールにもつながり**、子ども達の心身の成長に大変良い効果が期待されると考えます。

お子様へのお声かけ、さらにはご家族の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



## **お待ちしております！～二学期末授業参観&懇談会～**



12月13日（水）は、授業参観と学期末懇談会です。各学年において、今学期の締めくくりにあふさわしい様々な子ども達の学びを参観いただきたいと思います。

お忙しい中とは存じますが、ぜひご来校いただき、子ども達のやる気と自信に満ちた学びの姿をご覧くださいとともに、担任や保護者の皆様との有意義な情報交換をしていただきますよう、ご案内申し上げます。

なお、お昼休みには、6年生の中学校制服の採寸が予定されていますので、併せてよろしく申し上げます。

## **冬の通学路を安全に！～交通安全指導～**

いよいよ本格的な降雪が心配される季節を迎えました。雪が降ると、本町では、歩道に除雪された雪がつもり、道路が狭くなります。加えて、五叉路付近のカーブでは、山（壁）側を歩行する子どもが車から見えづらいということから、例年、子ども達には、あえて左（川）側を歩くように指導しています。

そこで、1日（金）の朝の会に、交通教育専門員の目黒修さんにおいでいただき、冬期間の安全な通学、及び交通事故防止についてご指導をいただきました。

まだ、積雪はありませんが、早速、今週から左側歩行を実行しております。2学期も残すところあとわずかですが、引き続き冬期間の交通事故防止に努めていきたいと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

